



笑顔が広がる仲間づくり
(大山サロンの様子)

特集記事P2・3

ぎなん

議会だより



目次

地域の支え合いで安心のまちづくりを！	P 2～3
北小学校のトイレ改修と大規模改修工事	P 4
全国議長大会・新委員会構成・新議員紹介	P 5
第4回定例会議案	P 6
議決の賛否・フォトギャラリー	P 7
総務・民生建設常任委員会報告	P 8
一般質問	P 9～15
議会日誌・広報写真募集・編集後記	P 16



議会新体制発足



ホームページ

ぎなん

検索



今回の ピックアップ

『地域の支え合いで

安心のまちづくりを！』

町では、高齢者等支え合い体制づくり支援事業交付金交付要綱を定め、地域の見守りや日常生活に支援が必要な高齢者などを支えるボランティア活動に対し、交付金（自治会区域ごとに5万円・予算額175万円）を付け、住民の安心と安全な暮らしを考えています。



お茶を飲みながら
地域の人と楽しくおしゃべり

『大山サロン』

大山

地域の友だちや施設の人たち、支え合いボランティアとの交流で笑顔がいっぱいの大山サロン。懐かしの歌や脳トレゲーム、誕生日会などの楽しい催し物もあります。

月に1回 10時～12時
ほほえみ会館 または
グループホーム若葉で開催
お菓子付100円



《支え合い活動推進員

インタビュー》

「ボランティアの笑顔でサロンを盛り上げたいと思います。長く続けて地域の人とつながり合いたいです。」

サロン活動

サロンは地域の人が気軽に立ち寄れる交流の場です。サロンに参加することで、近隣とのつながりを深め、地域の情報を交換することができます。また、参加者同士で見守りや支え合うことで、孤立や引きこもりを予防することができます。

助け合い活動

地域にはちょっとした困りごとを抱えている人がたくさんいますが、ご近所の助け合いがあれば、地域で安心して暮らし続けることができます。助け合い活動はご近所同士のちよつとしたお手伝いの活動です。

『クローバー』

野中団地

月に1回〜2回、団地内の会議室で「ふれあいサロン クローバー」を開催しています。助け合い活動では、ごみが運ばない時のお手伝いなどを行っています。サロン活動や助け合い活動を通して、いつもお互いのことを気にかけています。



『石原瀬ボランティアの会』

石原瀬

高齢で重いごみが運搬できない方や子育てなどで忙しい方のご自宅を訪問して、不燃ごみなどの搬出のお手伝いをしています。(月に4回)
ごみ出しの時に、声をかけて困りごとがないかも確認しています。



『グリーン・ローズ』

徳田二番地

資源ごみの分別や運搬が出来ない時はお手伝いをしています。助け合い活動やサロン活動を通して地域の方々の見守りもしています。



見守り活動

一人暮らし高齢者や高齢などにより生活に不安を抱えている人、家族や地域との関係が希薄になり寂しく感じている人はたくさんいます。そんな時、近所の人からのちょっとした声かけにより不安が軽減できたり、地域の見守りにより状態の悪化を早期に発見することができます。

事業に関するお問合せ

岐南町役場 健康推進課

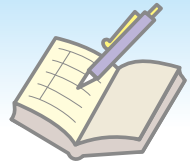
〈電話〉

058(247)1321

(直通)



あれって、どうなってるの？



北小学校のトイレ改修と大規模改修工事

ピカピカのトイレになりました

校舎、体育館のトイレは、においやコバエが大量に発生するなど、学校環境が悪化したことから、早急にトイレの改修工事を行う必要があったため、6月議会にて7010万3千円の補正予算が上程され、工事請負契約の締結について6月22日に議決をしました。

校舎トイレの改修工事は、授業に支障のないように、夏休み期間中に行われ、夏休み後から使用できるようにしました。その後、体育館トイレを改修し、10月20日に完成しました。



明るい学校に生まれかわります

大規模改修工事は、文部科学省の補助を受けるため、建築計画を提出していました。

国の2次補正予算により、平成28年10月18日に1億100万円の補助金内定の通知がありました。

これを受けて、11月24日の臨時議会に補正予算が上程されて、議決をしました。

今後は、3月議会の議決を経た後に工事請負契約を締結し、10月末の完成を目指しています。

今回の工事では、各教室、廊下等の床、壁、天井の改修、照明器具の取替え（LED）、放送設備、キュービクル、自動火災報知機、ダムウェーダー等の改修、外壁のクラック等の補修、屋上の防水など校舎の全面改修を行い、併せて体育館屋根の防水塗装工事（町単独工事）を実施します。



普通教室、職員室等は、できる限り夏休みに集中的に工事をし、学校の授業に支障のないように進めていきます。

第60回町村議会議長全国大会のご報告

「地方創生の実現をめざして」をスローガンに、全国から約1,600人の町村議会関係者が集結し、第60回全国町村議会議長会全国大会が、平成28年11月9日、東京NHKホールで開催され、正副議長が参加しました。

最初に、主催者を代表して、飯田徳昭会長（三重県朝日町議長）が、被災地復興と並行した大規模災害対策の推進、地方創生の実現による強靱な国土の形成、地方創生実現のために必要な経費の確保、町村議会議員の人材確保に資するための方策の推進など、町村と町村議会に関わる喫緊の課題について対策を施すよう国に要請したうえで、我々町村議会も議会改革に務め住民の信託に応えられる議会を構築していくとの決意を表明しました。

特別来賓として、安倍晋三総理大臣が祝辞の中で、「地方の活力なくして日本の活力なし、地方の未来を切り拓いていくことなくして、日本の未来はない。」と述べ、地方の意見を受け止めながら、地方の努力を応援していく姿勢を示しました。他に大島理森衆議院議長、富樫博之総務大臣政務官、山本幸三まち・ひと・しごと創生担当大臣、二階俊博自由民主党幹事長並びに藤原忠彦全国町村会長が祝辞を述べられたほか、多数の国会議員が出席しました。

今年の大会では、「東日本大震災及び熊本地震からの復旧・復興と大規模災害対策の確立」など要望34件を採択したうえで、緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある、5つの案件については特別決議を採択しました。



祝辞を述べる安倍首相

新委員会構成

補欠選挙にて当選された3名

昨年執行された町長選挙に議員が立候補したことにより欠員が生じたため、補欠選挙が行われました。補欠選挙後に各委員会の委員構成の変更・新たな委員の選任を行いました。



小島 英雄 議員



櫻井 明 議員



後藤 友紀 議員

総務常任委員会

Ⓔ加藤 雅浩
Ⓖ松原 浩二
伊藤 勝利
木下 美津子
小島 英雄

民生建設常任委員会

Ⓔ大塚 雅司
Ⓖ黒瀬 泰孝
渡邊 憲司
櫻井 明
後藤 友紀

議会広報特別委員会

Ⓔ渡邊 憲司
Ⓖ伊藤 勝利
大塚 雅司
木下 美津子
加藤 雅浩

議会運営委員会

Ⓔ渡邊 憲司
Ⓖ松原 浩二
加藤 雅浩
大塚 雅司

南町民センター南側用地取得

名鉄高架事業に伴う負担金

決定

平成二十八年第四回定例会

平成28年12月7日～21日 15日間

議案第59号 岐南町議会議員の議員報酬、旅費及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例



人事院の勧告に基づく賞与の均衡を図るため、期末手当を0.1ヶ月分引き上げ、4.2ヶ月を4.3ヶ月とするものです。

議案第60号 岐南町常勤の特別職員員の給与に関する条例の一部を改正する条例



人事院の勧告に基づく賞与の均衡を図るため、期末手当を0.1ヶ月分引き上げ、4.2ヶ月を4.3ヶ月とするものです。

議案第61号 岐南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例



人事院勧告がなされたことを受け、給料表、勤勉手当及び扶養手当の改正を行いました。

議案第62号 岐南町税条例の一部を改正する条例



外国人等の国際運輸業に関する所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、個人町民税の課税の特例を定めるため改正を行いました。

議案第63号 岐南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例



所得税法等及び外国人等の国際運輸業に関する所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる所得の見直しを行いました。

議案第64号 羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定



障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令の改正に伴い、羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会の委員の定数を20人以上、任期を3年と定めました。

(施行日：平成29年4月1日)

議案第65号 岐南町農業委員会の委員の定数を定める条例



農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員の選出方法が、公選制から議会同意による任命制に変更されました。

議案第66号 岐南町南町民センターの指定管理者の指定について



岐南町南町民センターの指定管理者に、岐南町徳田4クリン・ローズ（代表・葛谷小夜子氏）が引き続き指定されました。指定期間は平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3年間となります。

議案第67号 岐阜羽島衛生施設組合規約の変更に関する協議



岐阜羽島衛生施設組合の執行機関の組織変更に伴う規約の変更が行われました。

議案第68号 羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会共同設置規約の変更に関する協議



羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会の委員の定数等を、条例で定めることに伴う規約の変更を行いました。

議案第69号 平成28年度岐南町一般会計補正予算



歳入歳出それぞれ1億156万6千9百円を増額し、81億976万5千4百円となりました。歳出の主な内容は、臨時

福祉給付金給付事業として641万4千9百円、都市計画道路見直し業務委託料96万6千3百円、名鉄高架事業に伴う県への負担金45万7千円、南町民センター南側用地取得費23万7千5百円、通学安心システム更新業務委託料46万6千円の増額となっています。

議案第70号 平成28年度岐南町国民健康保険特別会計補正予算



歳入歳出それぞれ26万7千円を増額し、32億3510万2千円となりました。歳出の内容は職員の人件費精査に伴う経費です。

議案第71号 平成28年度岐南町介護保険特別会計補正予算



歳入歳出それぞれ96万8千円を減額し、15億945万8千円となりました。主な歳出内容は職員の人件費精査に伴う経費です。

議案第72号 平成28年度岐南町後期高齢者医療特別会計補正予算



歳入歳出それぞれ226万5千3百円を増額し、4億335万6千1百円となりました。主な歳出の内容は後期高齢者医療広域連合納付金として209万9千円となっています。

議案第73号 平成28年度岐南町下水道事業特別会計補正予算



歳入歳出それぞれ176万4千円を減額し、8億743万4千円となりました。主な歳出の内容は職員の人件費精査に伴う経費です。

平成28年 第4回定例会

議決の賛否（○賛成 ×反対 △欠席）

議員は提出された議案に対して賛成又は反対の意思を表明します。（議会規則では「表決」といいます。）

第4回（12月）定例会議会に提出された議案は15案件で、各議員の賛否は下表のとおりです。

※議長は、賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の可否を決定します。

委員会付託欄の●は総務常任委員会、●は民生建設常任委員会への付託を表します。

委員会 付託	案 件	大塚	伊藤 (議長)	木下	加藤	渡邊	黒瀬	松原	小島	櫻井	後藤
—	議案第59号 議会議員の議員報酬、旅費及び期末手当に関する条例の一部改正	○	—	○	×	○	○	○	○	○	○
—	議案第60号 常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正	○	—	○	×	○	○	○	○	○	○
—	議案第61号 職員の給与に関する条例の一部改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
●	議案第62号 税条例の一部改正	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
●	議案第63号 健康保険税条例の一部改正	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
●	議案第64号 羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会の委員の定数等を定める条例	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
●	議案第65号 農業委員会の委員の定数等を定める条例	○	—	○	○	○	×	○	△	○	○
●	議案第66号 南町民センターの指定管理者の指定	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
●	議案第67号 羽島衛生施設組合理約の変更に関する協議	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
●	議案第68号 羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会共同設置規約の変更に関する協議	○	—	○	○	○	○	○	△	○	○
—	議案第69号 平成28年度一般会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
—	議案第70号 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
—	議案第71号 平成28年度介護保険特別会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
—	議案第72号 平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
—	議案第73号 平成28年度下水道事業特別会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○

フ ォ ト ギ ャ ラ リ ー



鷺見武敏さん



川島啓吾さん

この他たくさんのご応募がありました。
ありがとうございました。

総務常任委員会の報告

付託案件：議案2件

議案第66号

南町民センターの指定管理者の指定について

Q 今の指定管理者と3年契約で更新するが、何か事情があっても継続できるか確認はしているか

A 指定管理者クリーン・ローズの代表含め5名の方が主に運営していくが、その5名の方に何か不都合があれば、補助メンバー16名で運営を受け継ぐ事になることを評価委員会でも説明を受けており、継続できると考えています。

Q 他の町民センターで指定管理者ができない理由は

A 町民センターの性質上、災害時の避難場所にもなることから、災害時、緊急時にすぐ対応できるよう、地域の方に管理していただくよう考えているが、休館日を除き、開所時間が9時から5時までと長く、地元の方への負担が大きいのも一つの要因と考えています。

Q 収支計画書の指定管理料が安いのでは

A 指定管理料については、最低賃金を確保していることと、この収支計画書がクリーン・ローズ側から提出されていることから、適正と判断しております。

民生建設常任委員会の報告

付託案件：議案5件

議案第63号

岐南町国民健康保険税条例の一部改正

Q 個人の配当等の審査方法は

A 税の申告に基づく税情報を基に行うため内容の審査等は行っていません。

議案第64号

羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会の委員の定数等を定める条例

Q 委員の選定条件、現状は

A 審査会は5人1グループで構成、障害保健福祉の学識経験を有する者で、羽島市、岐南町、笠松町の長が協議により定めた候補者を羽島市長が20人以内で選任し任命。



議案第65号

岐南町農業委員会の委員の定数を定める条例

Q 農業委員会系統の組織より公選制の維持を求める意見は

A 当町ではありませんでした。

Q 研修等の実施は

A 県の農業会議主催の研修に年2回参加。

議案第67号

岐阜羽島衛生施設組合規約の変更に関する協議

Q 改正に至った理由は何か

A 管理者副管理者には、それぞれの首長がなすべきとの意見があり改正に至った。

議案第68号

羽島市・羽島郡二町障害者自立支援認定審査会共同設置規約の変更に関する協議

Q 新たな委員定数は何人なのか。

A 定数20人以内で変わらない。任期は2年から3年に。

12月定例会

6人が一般質問

町政を問う

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

● 加藤 雅 浩 …………… 10

岐阜羽鳥衛生施設組合の今後は
ごみ屋敷問題における町の取り組み
岐南町放課後子ども総合プラン策
定にむけて

● 木下美津子 …………… 11

災害時対応と防災訓練
格差社会にみる社会的弱者への対
応
子育て支援の拡充
町民の読書活動推進のために

● 黒瀬 泰 孝 …………… 12

小規模企業振興基本法の活用につ
いて

● 松 原 浩 二 …………… 13

超高齢化社会を問う
大規模災害を問う
囲い込み福祉の脱却を問う
町内の施設利用を問う

● 渡 邊 憲 司 …………… 14

学生生活の向上
規制対象の町所有バス

● 大塚 雅 司 …………… 15

中保育園建て替えについて
予算並びに執行状況について
児童発達支援事業

● 一般質問 ●

次期施設建設地の進捗状況



加藤 雅浩 議員

岐阜羽島衛生施設組合
の今後は

羽島市福寿町平方地内における
羽島市平方第二土地区画整理事
業組合との候補地決定に関する
覚書は結んだのか。

 (民生部長) 候補地決定に関する覚書は締結していません。現時点において、ごみ処理施設の詳細な基本計画が定まっておらず、今後の事業推進に係わる契約や覚書については、衛生施設組合と土地画整理組合とで協議を行っているところです。

3ヘクタールの用地取得は、将来の老朽化時における隣地建設を見越しているのか。

 (民生部長) 来年度、次期ごみ処理施設基本計画を完成させるにあたり、以前に策定した基本計画の見直しに加え、配置計画や敷地面積についても隣設地建替えの可能性も含め、再検討を行っています。したがって、この検討結果に基づいて必要な用地の確保に努めてまいります。

町の対応と今後の見通しは

信頼関係を築き、
解決を図る

ごみ屋敷問題における
町の取り組み

平成28年6月議会の質問以後、現状に変化がない。これまでの町の取り組みは適切であったか。また、今後の対応は。

A（民生部長） 6月下旬に所有者より積載物整理計画書を提出してもらい、それと共に職員が間隔を空けることなく訪問し、指導をしている状態です。

9月下旬に所有者立会いで、敷地内にある積載物の状態を確認、指導し、有価物と主張している物

のほかに可燃ごみと分類できる物も含まれている為、一般廃棄物であると説明し、4袋ほど整理して頂きました。

その後も、11月中旬に積載物撤去の計画について話し合い、処理業者に委託する要望があれば幹旋する事も含めた話し合いを進める中で、12月上旬に処理業者が現場を確認し、委託するか本人が整理をするかを含めた撤去計画の打合せをする予定です。

今後、信頼関係を築きながら積載物を整理できるよう支援しますが、まず本人自ら片付ける気持ち、やろうとする気持ちを大切にして、時間はかかると思いますが、根気強く取り組んでいく所存です。

町と教育委員会の連携強化を
部長 教育委員会と連携し進めたい

町と教育委員会の連携強化を
部長 教育委員会と連携し進めたい

岐南町版放課後子ども総合プラン策定にむけて

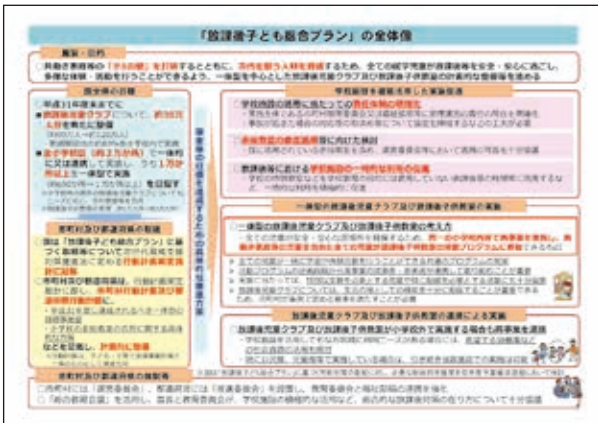
実施に向けた、町と教育委員会の連携強化を

A 文科省は、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことがで

きるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるよう示しています。

町では、放課後児童クラブとしての学童保育事業と、放課後子ども総合プランのメニューである土曜日の教育活動推進事業として、Gさうす+（プラス）を行っています。現在、これらの事業は学校内では行なっていません。

学校内で放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が実施できるよう子育て支援課、生涯教育課、羽島郡二町教育委員会及び小学校と連携し進めたい。



● 一 般 質 問 ●

障がい者の防災訓練参加を
部長 積極的に取り組んでいく

災害時対応と防災訓練

障がい者を迅速かつ的確に支援するための防災訓練は重要。実施すれば障がい者の意見も聞け、より防災対策が進むのでは。

（総務部長） 有意義なことだが困難が予想され実施を見送ってきたが、今後は積極的に取り組む。

ペット同行避難を想定し各避難所のペット受入れの場所を決めておく必要がある。又ペット避難用グッズや躰の啓発活動の推進を。

（総務部長） ペットスペースは重要。検討する。ペット対策



木下 美津子 議員

は環境庁ガイドラインを狂犬病予防接種時に普及啓発していく。

避難所は避難者主体の運営が原則。平成25年4月にそのマニュアルが策定された。避難所開設時の流れは。

（総務部長） 発災後直ちに避難所開設職員を指定避難所に派遣。6ヶ所の拠点避難所開設から周辺避難所のサポート業務までを実施。その後は住民代表による暫定運営組織を立ち上げ、その後組織化した運営本部に移行。役場職員、ボランティア等は避難所運営のサポート役として活動する。

避難所運営には施設の拡大見取図が必要。24の指定避難所の見取図の保管場所は。

（総務部長） 一部の指定避難所で設置されていない。速やかに実施する。保管場所の一覧表を作成し各避難所に配置する。

（総務部長） 一部の指定避難所で設置されていない。速やかに実施する。保管場所の一覧表を作成し各避難所に配置する。



有事に備えて防災訓練

平成26年4月施行の改正災害対策基本法により災害時の避難に支援が必要な人の名簿作成が義務付けられた。現在の推進状況は。

（総務部長） 町内該当者は平成28年12月1日現在527人。情報提供に同意の方196人。否同意の方22人。無返答の方309人。今後は意志確認に努める。

格差社会にみる社会的弱者への対応

家庭や学校での悩みで過度の緊張やストレスによる体調の不調は心のSOSの発信でもある。保健室に来る子供の現状と背後にある訴えをどうみているか。

（教育長） 保健室利用者の中で心や家庭に問題のある状況は3小学校で14件、中学校で12件。子供の背後にある訴えを受け止め相談にあたっている。又各相談機関対応もある。

親の仕事等で一人で食事をする子、独居の高齢者の孤食によるうつ症状発症予防等孤立防止の食堂の取り組みの考え

（政策推進課長） 町内のひとり親世帯の18歳未満の子供234名。独居の65歳以上549名。食堂の取り組みは有効と考える。運

営を担う団体の確保、送迎等課題を関係者と協議していく。

土日祭日保育実施の考え
部長 検討する必要があると考える

子育て支援の拡充

社会形態の変化、働き方の多様化、女性の社会進出等で休日保育が必要な世帯がある。対応をどう考えるか。

（民生部長） 現在、国からは日曜祭日を除いた委託費の経費しか出ていないが、保育の必要性は高くなっている。検討する必要がある。

町民の読書活動推進のために

高齢者、要介護者、障がい者、出産前後の人等を対象に図書館の書籍の宅配貸出しサービス実施の考えは。

（自治教育振興部長） 今後、宅配方法、宅配ボランティア等検討していく。

一般質問



黒瀬 泰孝 議員

小規模企業への振興策は
部長 創業者に対し支援を検討中

小規模企業振興基本法の活用について

国の小規模企業振興基本法についての方

A (自治教育振興部長) 国は、近年の人口構造の変化などによる経済社会情勢の変化に伴い、平成26年6月に小規模企業の振興を図る小規模企業振興基本法を制定しました。

岐南町内には、平成24年経済センサス、県商工会連合会の調査によると1425社の事業所があり、その内1035社、全体の約7割が小規模企業です。

小規模企業の活性化は、町内地域経済に大きな影響を与えるものと考えていますので、小規模企業振興基本法における町の役割については、地域経済の活性化、地域住民の生活の向上及び理解を図らなければならぬものと認識しています。

小規模企業者の要望を把握し、生きた条例の制定

A (自治教育振興部長) 具体的には、商工振興策として、岐南町商工会補助金により地域総合振興事業、経営改善普及事業などにより中小企業に対して支援をしています。

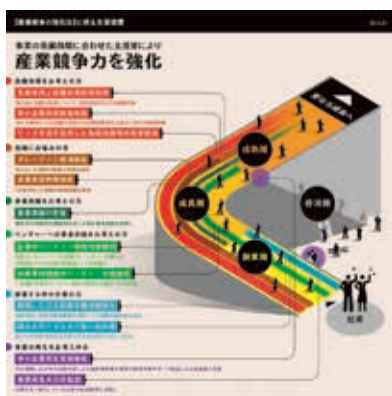
また、創業支援策として、本年度9月空き店舗に出店する補助を



官民合同研修会の様子

新たに実施したことにより、11月末現在において既に4件の助成をしているところです。その他、町内商工業者に対する支援策として、7月に町職員と商工業者の合同研修会を開催していました。

今後も産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定し関係機関と協力し、創業者に対しての支援を検討しているところです。



産業競争力強化法に係る支援イメージ

「岐阜県中小企業・小規模企業振興条例」第12条に規定されている学校での理解を図る教育活動について

A (教育長) 中小企業の学習については、小学校5年生の単元「わたしたちの生活と工業生産」の「工業生産を支える」で学びます。

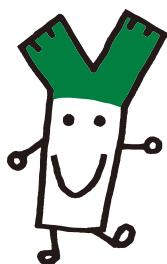
中学校では2年生で職場体験研修を行います。3日間の研修で、岐南町を中心に、パン工房、洋菓

子店、飲食店、茶工場、給食センター、衛生工業など中小企業の存在と重要性、果たす役割を、体験を通して学びます。

その他、小学校では3年生の町探検、4年生のスーパールの見学など、実際に店や工場を訪問して、その願いや工夫を聞いています。

中学校においては、中学校3年生「公民」において、「大企業と中小企業」を学び、経済活動を支える労働「社会の中で働くこと」を学ぶと共に、「職業講話」として、働いている方々を学校に招き、直接、意志や働き甲斐について聞き、勤労観や職業観を学びます。

こうした学習を通して、中小企業の存在と役割の重要性、持続的な発展を目指す取り組みを理解するだけでなく、児童生徒一人一人に正しい職業観をもたせるとともに、自分の能力や適性を理解し、一人一人のキャリア形成につなぐ指導を進めているところです。



一般質問



松原 浩二 議員

超高齢社会を問う 部長 安心して暮らせる町づくりを

総人口に対して65歳以上の高齢者人口の占める割合が21%を超えた社会を「超高齢社会」といい日本においても2007年に突入し岐南町においても例外ではなくさらに増加すると思われる。高齢化は問題ではないがそれに伴う認知症の方の増加が予測できるが町としての対応は

(民生部長) 認知症高齢者は国

においては平成37年には約70万人に増加、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になると見込まれています。認知症は誰もがかかる可能性があり記憶や判断力の障害が起こり社会生活に支障が出ます。町では軽い段階から医療機関にかかり適切な治療や支援をし症状の軽減をはかり、家族や民生委員等からの相談など対応

に努めています。今年度4月より羽島郡医師会ご協力のもと認知症専門医、看護師、社会福祉士、作業療法士が連携し認知症初期集中支援チームを設置、医療機関や介護サービス機関と連携し対応しています。また安心して暮らせるよう認知症対策協議会を設置、さらに認知症の知識の普及を図り認知症カフェを各小学校区で開催しています。

認知症に限らず高齢者の自動車運転事故が全国において増加傾向で高速道路の逆走やブレーキとアクセルの踏み間違いなど社会問題化している。岐南町においては車無しでは不便であり運転免許証の返納がされにくいと思われるがその対応と返納時のサービスなど検討は

(民生部長) 全国の75歳以上の運転免許証保有者は平成27年末で約478万人で10年間で倍増しています。事故件数は75歳未満の2.5倍に及んでいます。近隣自治体では自主返納者にバスや電車の乗車券などの交付もあり、また返納後の日常生活の活動量減少に伴う閉じこもりや気力や身体機能の低下、認知症発症の懸念もあるため、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う住民への意識調査をし、必要なサービスを検討し高齢者自身の活動が維持できるよう推進していきます。

大規模災害を問う 部長 災害時は自助・共助が重要

近年は世界中で異常気象が頻発し日本においても北海道の台風や熊本地震など想定外の大規模災害が発生している。岐南町において現在の防災訓練など対応や災害対策本部は機能するのか

(総務部長) 町で想定されている最大震度は養老・桑名・四日市断層帯で6強です。大災害時は職員も被災するので休日や夜間時は災害対策本部が十分機能しないことも想定されます。防災訓練はシェイクアウト訓練を奨励し「自助」「共助」を実践していただくものです。新庁舎は免震構造であり震度7に耐え得るよう設計されています。



身分証明書になる運転経歴書

困い込み福祉の脱却を問う 部長 障害者の自立の支援を強化

町長の施策の一つである障害者の自立支援の取り組みは

(民生部長) 障害者総合支援法に基づき羽島市、笠松町や業者、各施設とともに連携し進めていきます。



災害対策本部 (訓練)

町内の施設利用を問う

公民館など新しくなり利用状況やアンケート調査などの評価は

(総務・自治教育振興部長) 利用者数は施設ごとに増減はあります。アンケート結果は「岐南町公共施設等総合管理計画」に反映します。

● 一 般 質 問 ●

Q (自治教育振興部長) 夏場の熱中症対策の一つとして、ウォータークーラーの設置は有効な手段であることは認識していますが、

Q 私が何年も訴えてきたエアコン設置も叶い、夏でも勉強に集中できる環境になってきたが、ウォータークーラー設置が、なかなか進んでおらず、いまだに子供達の水筒に頼っているのが現状である。子供たちが持つてくる水筒も午前中も待たずに飲み干してしまい、水道水に頼っている児童も多いと聞く。こういった環境をふまえウォータークーラーの必要性は高いと考えるが。

学校生活の向上

学校環境の充実・改善を
部長 状況をみながら対応を



渡邊 憲司 議員

岐南町の上水道は、おいしく安心安全ですので、小学校の児童は、学校の水道水の補給で十分対応ができるので、設置は考えていません。



岐南中のテニスコート

Q 今年から、硬式テニスが中学でも公式に認められ全国的に増えてきている。硬式テニスは軟式テニスと違って、高校に上がっても高校総体など公式の大会になっており、中学時代から硬式テニスを学ぶ事は将来的に大切な事で、岐南町から全国大会出場も考えられる。子供たちの健康とスポーツ推進のために、中学校の部活に硬式テニスを取り入れるべきではないか？

A (教育長) 部活動とすることについては、指導者や場所の課題もあり、硬式テニスを楽しむ学ぶことを希望する生徒の状況を見ながら対応をしたいと考えています。

Q スマイル岐南は、なかなか学校になじめない児童の憩いの場であり、13名ほどの児童が登録されていると聞く。月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで、くつろぎ苑2階でおこなわれているが、保護者からは学校と同じ午前8時頃から午後4時頃までにして欲しいとの声が出ている。こうした中、職員は2名しかなく、児童の心に寄り添うにも職員の人数の少なさも感じられ、職員の待遇改善と共に児童が通いやすくしていくべきではないか？

A (教育長) 開設時間は、午前9時から午後4時までですが、時間を変更して、学校が放課になるのを待って支援したり、時間外に保護者と懇談・相談、家庭訪問をして支援することもあり、指導員、支援員ともよく努力をしています。給与面での改善については、二町教育委員会運営協議会で一度、議題としたいと思っています。



スマイル岐南

町有バスの今後は
部長 補助金の増額を検討

規制対象の町所有バス

Q スポーツ少年団や商工会などが使おうとした時、排ガス規制の為、遠征や研修に使えないとの話が出ています。選択肢として一般的なバス会社と提携を結び、岐南町の自治体やスポーツ少年団などに低価格で貸出す事や新しい排ガス規制に基づいたバスを買い、今まで通りの金額で貸出す方法。または、バスへの補助金が無理なら、中学校と同様にスポーツ少年団や商工会、そして自治会などへの補助金を増額することはできないか？

A (総務部長) バス会社との提携運行代行等のできる事業所は数多くあり、その中から業務内容を考察し、特定のバス会社と提携することは、地方公共団体としての性質上、困難であると考えます。補助金の増額については、各種団体の現状を踏まえ今後検討していきます。



一般質問

中保育園建て替えについて 町長 適切な支援体制を整備する

事業実施主体法人には、かなりの費用負担が発生する。支援する立場の町として、建て替えに対する支援は

(町長) 保育ニーズに対応する認定こども園化を視野に建て替えを進める中保育園について、保育の実施責任者である町の責任を果たすため、「私立保育所補助金交付要綱」を改正し、適切な支援体制を整備します。

北小学校校庭を候補地として選定した根拠は

(政策推進課長) 課題はあるが、移転後の中保育園と北小学校の保育・教育の連携による相乗効果が見込まれます。人口減少等に



大塚 雅司 議員

より北保育園運営が困難と想定され、現状より通園距離が短縮。新たな用地の買収が不要、工事中に使用する仮園舎の確保する必要も無い。従って、北小学校校庭への建て替え移転が望ましいと判断しました。



移転候補地の北小校庭

建て替えに伴う費用の比較検討は

(政策推進課長) 現在の中保育園周辺で建て替える場合、新たな用地買収、あるいは仮園舎等を確保するための費用が必要。一方北小学校敷地内で建て替えた場合、遊具移転費用が必要となるが、文部科学省が定める「小学校設置基準」を満たした教育環境を維持しつつ、新たな用地買収や建て替え期間中の仮園舎に係る費用も不要となり、建て替え費用を抑えることができます。

事業に関わりのある国・県との協議は

(政策推進課長) 北小学校敷地の転用に関する岐阜県教育委

員会との協議、新たな認定こども園の施設整備補助金等に関する岐阜県との協議、老朽化した現在の園舎の取り扱いについては防衛省との協議を進めています。

予算並びに執行状況について

本格的査定前につき予算編成への基本的考え方について

(町長) 重要な政策課題に予算を重点配分し、対話と議論を重視した公平・公正な町政運営を基本に新年度予算編成を行っていきます。

総合調理センター整備事業交付金が得られなかった理由は

(自治教育振興部長) 国の補助採択がはつきりしない状況下、工事の先送りできないため、町単独事業として本契約、2次補正対象となりました。



9月稼働の調理センター

60周年記念事業予算の費用対効果について

(自治教育振興部長) 年度当初計画の事業内容変更はありましたが、限られた予算の中、町のPR効果は十分にあったと考えています。ただ、事業の中には反省すべき点や課題は、60周年を契機とし、これからの岐南町につなげていくことが重要と考えます。

都市再整備計画の状況と今後の見通しは

(建設部長) 庁舎北道路整備(年度内完了) 八剣北公園整備(設計中) 防災備蓄倉庫整備等、5ヶ年計画事業、総事業費約5億6千万円の事業、円滑な事業推進を図っていきます。

児童発達支援事業について

岐南さくら発達支援事業所、開所後のかかり方・認識について

(民生部長) 社会福祉法人豊誠会運営、岐南さくら発達支援事業所「よりどころ」12月1日に4種類のサービスが提供される多機能型事業所として開所。施設と連携・協力を図り、密接に関与していきます。

議会日誌

10月

- 町民運動会
- 町制施行60周年式典
- 障害者総合支援協議会
- 老人クラブ連合会
- グラウンド・ゴルフ大会(後期)
- シルバー人材センター理事会
- 「木の日」要望活動
- 羽島郡広域連合消防技術競練会・議会定例会
- 保育園運動会
- 老人体育大会
- 県町村議会議長会定期総会
- リバーサイドカーニバル2016
- 羽島郡二町教育委員会運営協議会

11月

- 岐阜羽島衛生施設組合議会定例会
- ぎなんフェスタ2016
- 岐南町文化祭
- 菊花展
- 長野県長和町議会来庁
- 岐阜基地航空際・祝賀会
- 全国環整連全国大会
- 郡スポーツ少年団交流大会
- 学びステーション
- 木曽川右岸地帯水防事務組合水防工法競技大会
- 全国町村議会議長会
- 公共施設等総合管理計画策定委員会
- 「ねぎつちよ」グラウンド・ゴルフ大会
- 美術展・芸能大会

12月

- 第2回議会臨時会
- 議会運営委員会・全員協議会
- 県地方競馬組合議会定例会
- 県町村議会議長会臨時総会・評議員会
- 社会教育委員の会
- 第4回議会定例会(12月7日～21日)
- ぎなんフェスタ実行委員会
- 郡駅伝競走大会
- 社会福祉協議会理事会・評議員会
- 行政改革推進委員会



「議会だより」の写真を随時募集しています！

- 内 容** 応募者自身が岐南町内で撮影した未発表写真(町内行事や風景等)
※著作権・肖像権の侵害等が生じないものに限り、デジタルデータ・プリント写真(カラー写真)
- 規 格** 議会広報特別委員会にて審査採用作品は議会だよりに掲載
- 審 査 表 示 著 作 権** 著作権は撮影者本人
※掲載6ヶ月間は他媒体での発表はご遠慮下さい
- 応募方法** Eメール・郵送・事務局に持参
(氏名・住所・電話番号・撮影年月日と場所・写真のコメント等を明記のこと)
- そ の 他** 採用者には、粗品を贈呈します
- お問 合 せ** 岐南町議会事務局
〒501-6197 岐南町八剣7-107
☎058-247-1682
E-mail: gikai@town.ginan.lg.jp

表紙の題字



「ぎなん」は
西小6年
葛谷 和奏 さんの
作品です

編集後記



ありがとう

■皆さんに読みやすくわかりやすい議会だよりにするために、議員各自でアイデアを出し合って作りしました。今後とも議員としても成長し住民の声を行政に伝え問題解決をしていきたいと考えております。

(渡邊)

■孔子の言葉より
他人が、自分の実力を認めてくれないことを、気にすることは無い。自分が、他人の実力を十分に理解していないことを、苦にせよ。
何事も、我を捨てて、相手の気持を理解する配慮が、大切なことだと思います。

(伊藤)

■どの町でも課題は「人口減少」と口にする。地方創生に向けたアプローチは各町さまさまである。どんな町づくりをと言われれば、町づくりは課題ではあるが、「何もないから」と、イメージが浮かんでこない。新たな事の模索も大事だが、眠っている魅力探しを求められているのかも知れない。

(大塚)

■社会的大きな課題の一つに格差社会の問題がある。識者曰く『格差が大きくなるほど人々の健康や社会的問題は深刻さを増すが、格差社会ほど人々は互いをかまわなくなり人間関係も希薄になり、信頼関係も弱くなる。それは全ての所得層に現れ孤立社会を招く』と…。社会的弱者への支援急務。

(木下)

■年度末を迎え、出会いと別れの季節。小学生から中学生へ、学生から社会人へと次のステージへと進む季節でもある。岐南町で育った子どもたちが大人になり、世の中を動かすエンジンとして活躍されることを期待するとともに、社会全体で子どもたちを育てていく仕組み作りを考えていきたい。

(加藤)

議会だより

広報特別委員

- 委員長 渡邊 憲司
副委員長 伊藤 勝利
委員 大塚 雅司
委員 木下 美津子
委員 加藤 雅浩